

自家用発電設備の研修会を札幌で開催

2月12日、一般社団法人北海道消防設備協会札幌支部の主催で令和元年度実務研修会が札幌市内で開催されました。

研修会では、北海道消防設備協会札幌支部長の挨拶に始まり、札幌市消防局予防部査察規制課の設備係長から、札幌支部の会員において消防用設備等の設置及び維持管理（点検結果報告書）を行う上で疑問が生じた事例等に対する考え方について約30分間の講義が行われました。

続いて、内発協の講師から、非常用自家発電設備の分類、関係法令による規制、構成・構造及び点検・保守と平成30年の消防点検改正の内容について約2時間の講義が行われました。内発協が派遣した講師

は、独自に作成したパワーポイントを用いて、自家用発電設備に関する法令、構造、実際の運用及び不具合事例を織り交ぜより実務に即した説明を行いました。

この研修会は北海道消防設備協会札幌支部の会員、札幌市消防局の各消防署職員等を対象としたもので、同札幌支部の会員125名、札幌市消防局職員30名の計155名が参加されました。

今後とも内発協では、防災用自家発電設備に関する総務省消防庁の登録認定機関として、また、自家用発電設備専門技術者を養成する機関として、関係機関等からの要望を受けた場合、自家用発電設備に関する研修会等への講師の派遣を積極的に対応していくこととしています。



実務研修会の会場



あいさつする北海道消防設備協会の札幌支部長



講義する札幌市消防局の設備係長



内発協の越石講師